

# 会 議 録

会議の名称	第2次中野市総合計画、中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び旧中野高校跡地利活用計画に係る市民懇談会
日 時	平成27年9月28日（月） 19:00～19:55
会 場	西部公民館
出席者等	・参加者20人 <市> ・市長、副市長、教育長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、建設水道部長、消防部長、豊田支所長、会計管理者、教育次長、議会事務局長、政策情報課長、政策推進係長
次第	1 開会 2 あいさつ 3 資料説明 ・第2次中野市総合計画について《資料1》 ・中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について《資料2》 ・旧中野高校跡地利活用計画について《資料3》 4 質疑 5 閉会
資料等	市民懇談会資料
発言内容	下記のとおり

1. 開会 （進行：政策情報課長）
2. あいさつ （市長）
3. 資料説明 （総務部長から資料に基づき一括説明）
4. 質疑

## 質問

○資料2ページの中野市の現状と課題のグラフについて、世帯数が増えているにもかかわらず、人口は減少している。世帯数について、どの地区が増えているのか。

**回答**

○地区別の人口推移はあるが、世帯数の推移は手持ちではありません。

**質問**

○人口減少について、どの地区が減っているのか。

**回答**

○2000年以降は、平野地区を除いた地区全てで人口が減少している。平野地区は2010年まで増加し、その後減少に転じている。

**意見**

○平野地区が2010年まで人口が増加していたのは魅力的な地域であったと考えられる。力を入れていかなければいけない地域では、平野地区を中心にして人口増になるようなことをやるべきと考えるがいかがか。

**回答**

○平野地区の人口が増加したということをつえながら施策を考えていくことは必要と考える。

**質問**

○資料4ページの市民アンケート結果から、市が重点的に取り組むべき政策の中で子ども関係の政策が4番目であるのに対し、資料8ページの総合戦略の施策体系では、子どもに対する施策が1番目になっており、市民が感じている政策の順番になっていないのはなぜか。

**回答**

○8ページの施策は1番目が最も重要であるわけではなく、4つの柱は全て重要である。

**意見**

○心理的には、①～④と並べると優先順位として捉えてしまうので、市民が重要と考えている政策の順番で書かれた方が良いと思う。

○人材育成と雇用の安定は非常に重要である。人口増を考えると、個人というより企業を誘致し、雇用の場を確実に確保し、中野から転出しなくても仕事ができる状態を確保していただきたい。大学を卒業しても、こちらには就職する場がないため、大都市で就職するか就職浪人となっています。中野市としては雇用創出を最重要課題としていただきたい。企業誘致となれば、こちらの地区含め、道路アクセスを考えれば有利な地区である。農業後継者も減っている中で、農振を外していただいて、工場団地を拡充していただきたいと考えている。合わせて、企業に課せられている税金を減らす施策を講じ、そこに勤める方の所得税を確保していくような安定的な方策を検討してほしい。

**回答**

○働く場がなければ若者は帰ってこないことは重々承知している。企業誘致は難しい状況であることは確かであるが、貴重なご意見として頂戴いたします。

#### 意見

- 中野市の知名度を上げる必要がある。「信州中野市」と市名を変更してほしい。
- 中野市の観光施設が市の中心でなく外に点在しているため、観光施設を巡る道路等を整備したらどうか。観光に力を入れていく必要があるのではないか。

#### 回答

- 市名については、「中野」は知名度が低いことは承知しているが、以前実施したアンケートでは「信州中野市」として理解いただける市民が約25%ほどであった。市の中で相談はしていないが、外の方がどう捉えているかを知るためのシンポジウムをしたいと考えている。
- 観光施設が外れにあるとは考えていない。以前、東京の大学生が来て滞在したことがあり意見を聞いたところ、巡りあって楽しい街だと言う学生が多かった。道路整備も大切ですが、中野市の観光のメインとなるものを整理して、それをどう巡るかという提案型・着地型の発信をしていく。
- お金を落としてもらうといったら中野は農業生産物である。「食」に対してどうお金を落としてもらうか。それによって、農家所得、それに関わる方の所得が上がるのが望めれば、一番やりやすいと思う。
- 企業誘致について、若い世代の雇用のミスマッチがある実態も承知している。工場誘致をするのか、中野市に新しい形の事業が起きるとか、人が集まってくるような仕掛けができないか検討している。地方創生で言われているのが「人づくり」で、どういう形で中野らしさを戦略でできるかに取り組みたいと考えている。

#### 質問

- 人口ビジョンで、2019年から2025年までの6年間で2,000人も人口が減少してしまうのか。

#### 回答

- 人口は、自然動態と社会動態の合計であるが、ここ数年は年間平均約300人の人口減少が続いている現状がある。

#### 意見

- 2,000人というと、ここ周辺の1地区の人口がいなくなってしまうという数字であり、人口減少は喫緊の課題と思う。

#### 回答

- 喫緊の課題であり、様々な施策を講じることで少しでも中野に来ていただけるような施策をしていく。

#### 報告

- 旧中野高校跡地利活用計画については、10月26日期限でパブリックコメントを実施している。
- 総合計画、総合戦略について、具体的な事業が決まり次第、パブリックコメントを実施する予定でいる。

5. 閉会 (19時55分)